

みやぎ環境税

みやぎの豊かな環境を守り、次の世代へ引き継いでいこう

～ 令和2年度事業とその成果を紹介します ～

宮城の豊かな環境を適切に保全し、次の世代へ引き継いでいくために、平成23年4月から「みやぎ環境税」を導入し、さまざまな事業に取り組んでいます。

喫緊の環境課題の解決に向けて策定した「新みやぎグリーン戦略プラン」に基づく以下の4つの視点のもと、令和2年度は50事業を実施しました。

そのほか、市町村向け事業「みやぎ環境交付金事業」を実施しました。



視点1 低炭素社会の推進 16事業 / 6億5625万円

事業者や家庭での積極的な二酸化炭素の削減に向けた取り組みを推進しました。

- 主な事業**
- スマートエネルギー住宅普及促進事業 / 2億8697万円
住宅への太陽光発電システムなどの設備導入や住宅の省エネルギー改修工事を行う県民の方に対する補助
 - 省エネルギー・コスト削減実践支援事業 / 1億5176万円
省エネルギー設備(高効率のボイラ、空調機、LED照明など)を導入する事業者に対する補助



導入された高効率ボイラ

視点2 森林の保全・機能強化 12事業 / 6億4284万円

二酸化炭素の吸収機能など多面的機能を持つ森林や里山の管理・保全と森林資源活用に向けた取り組みを推進しました。

- 主な事業**
- 温暖化防止間伐推進事業 / 1億5006万円
間伐や森林作業道の整備に対する補助
 - 県産材利用エコ住宅普及促進事業 / 2億6257万円
優良みやぎ材などの県産材を一定以上使用した新築一戸建て木造住宅の建築主に対する補助



間伐作業

視点3 生物多様性・自然環境の保全 16事業 / 8890万円

生物多様性を育む豊かな自然環境の保全・再生に向けた取り組みを推進しました。

- 主な事業**
- 野生鳥獣適正保護管理事業 / 1628万円
生息域拡大が著しい野生鳥獣(ニホンジカ・イノシシ)の捕獲による適正な管理
 - 伊豆沼・内沼よみがえり在来生物プロジェクト事業 / 1988万円
在来生物を復活・増殖させるための環境改善や外来生物の駆除



住宅地に出没したニホンジカ

視点4 環境共生型社会構築のための人材の充実 6事業 / 1121万円

自主的・継続的に環境に優しい行動を実践する人材の育成や環境教育を一層充実させる取り組みを推進しました。

- 主な事業**
- 児童・生徒のための環境教育推進事業 / 123万円
県内の児童・生徒を対象にNPOなどと協働して行う環境教育に関する出前講座
 - ルルブル・エコチャレンジ事業 / 192万円
幼児～小学校低学年を対象に、基本的な生活習慣の実践とエコ活動(夜間の電力不使用)を推進



こども環境教育出前講座

温暖化対策の成果について

6929世帯分の二酸化炭素を削減しました

家庭用の太陽光発電システムやエネファーム(燃料電池)の導入、既存住宅の断熱改修、事業者用の再生可能エネルギー設備(太陽光発電等)の導入などを支援した省エネ効果と、森林整備による吸収効果により、約2万7516トンの二酸化炭素を削減しました。これは平均的な家庭換算で大郷町・大衡村・色麻町の合計世帯数の排出量とほぼ同じです。

森林を整備し、森の働きを高めました

二酸化炭素の吸収機能向上や、降雨などによる山崩れや土壌の流出を防止するため、545畝の間伐や55畝の造林などの森林整備を推進しました。



間伐された森林

温暖化対策以外の成果について

地域の生態系への影響や農林業被害を防ぐため、増えすぎたニホンジカやイノシシを3805頭捕獲しました。また、県内44の小学校で環境に関する出前講座を実施しました。

みやぎ環境交付金事業 (市町村提案型事業)

「みやぎ環境税」を活用し「みやぎ環境交付金」として各市町村へ交付し、地域で実施する環境課題の解決に向けた取り組みを支援しています。今回は令和2年度に実施された市町村事業のうち、2事業を紹介します。

大崎市「大崎耕土」の生物文化多様性普及啓発事業

平成29年度に世界農業遺産に認定された大崎耕土の普及啓発を行う事業を実施しました。

この事業は、「大崎耕土」自体を博物館(ミュージアム)とし、現場(フィールド)そのものが展示品であるという、「フィールドミュージアム」構想のもとに実施されています。屋敷林「居久根」やため池などの現場に説明看板を設置し、掲載の二次元コードから説明動画をその場で見られる仕組みを整備しました。



世界農業遺産「大崎耕土」ウェブページはこちら



仙台市「公共施設低炭素化検討事業

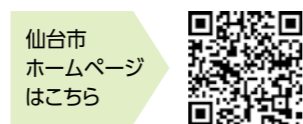
発電の際に発生する二酸化炭素も地球

温暖化の原因の一つですが、エアコン稼働に用いる電力も例外ではありません。仙台市では市立学校に設置しているエアコンの運用を効率的に行うため、市立小学校の3教室を試験的に断熱改修し、使用電力に関する効果を調査しました。天井・壁などの断熱、二重窓や部屋の外側の遮熱ブラインド設置など、より効果的な断熱仕様を実証・検討し、省エネ化を図ります。

この結果は、市立学校の省エネルギーに活かされる予定です。



既存窓への内窓追加



仙台市ホームページはこちら

「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050」ポータルサイトを開設しました

県は、「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050」という新たなキャッチフレーズのもと、脱炭素化社会の実現を目指しています。今回、県の地球温暖化対策に関する



ポータルサイトはこちら



令和2年度の収支と環境創造基金の残高

	金額(円)
令和元年度末の残高①	8億6004万
令和2年度収入(税収・運用など)②	17億4875万
令和2年度支出③	17億1686万
令和2年度末の残高①+(②-③)	※8億9192万

※1万円未満を切り上げているため、合計が一致していません

キャンペーン情報やSNSなどを集約発信するポータルサイトを開設しましたのでぜひご覧ください！

基金の残高について

みやぎ環境税は、課税目的に沿った事業のみ使用し、その使い道を明らかにするため、「環境創造基金」に積み立てて管理しています。(左表参照) 基金の残高は、令和3年度以降の事業に引き続き活用していきます。

問い合わせ先

みやぎ環境税に関するお問い合わせ先

環境政策課

022(211)2661

みやぎ環境税の仕組みに関するお問い合わせ先

税務課

022(211)2323